



地球環境市民大学校

環境保全協働コーディネーター養成講座

持続可能な社会を実現するためには、行政・市民・企業間のパートナーシップが不可欠です。しかし、異なるセクターが協働するには、それぞれの持つ強み・課題や考え方などの“共通点と違い”を理解し、課題解決のプロセスをデザインし、成果を導くことができる人材が求められます。

そこで本講座は、「環境保全活動における協働についての知識と、企画段階から評価までの具体的スキルを持つ人材を養成する」ことを目的に、セクターを超えた協働の実践者からの事例紹介と、最新の調査などを中心に、「現場で役立つ知識とスキル」を身につける構成としました。現場で活躍するあなたのスキルアップの場として、ぜひご参加ください。

*本講座における「環境保全協働コーディネーター」とは、何らかの“資格”を指すものではありません。

日時

第1回 2006年1月24日(火)

第3回 2006年2月07日(火)

第2回 2006年1月31日(火)

第4回 2006年2月14日(火)

*時間は、いずれの回も18:30~21:00

会場

ちよだプラットフォームスクウェア 会議室

(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21)

*東京メトロ東西線 竹橋駅3b出口より徒歩5分

受講対象

NPO/NGO(法人格の有無は問わない)、NPO支援センター、自治体、外郭団体、企業などにおいて、環境保全に関する事業・活動で他セクターと協働している、または今後協働する必要があると考えている方々(定員30名)。

*4回ともご参加いただくことが条件となります。

*講座の成果を高めるため、1団体から複数名でのご参加を歓迎します。

参加費

2,000円(参加者お1人あたり/4回分)*配布テキスト・資料代を含みます。

主催

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金

企画協力・運営

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]



地球環境基金は、NGOが国内外で行う環境保全活動に対し、基金や人材育成の支援をしています。
*独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部 <ホームページ: <http://www.erca.co.jp/jfge>>
〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー8F TEL.044-520-9505 (部代表)

第1回 1月24日(火)

「協働」の基礎と課題を理解する

講義と事例紹介「企業・行政とNPOのより深い協働をめざして」

「協働とは」「コーディネートとは」について、事例を踏まえて、実際に協働を進めるプロセスを、テキストに基づいて解説します。

講義と事例紹介「協働の環境をどう育てるか」

IIHOEが実施した、自治体とNPOの「協働環境」に関する調査結果から、よりよい協働を実現する環境づくりに向けたヒントと事例を紹介します。

作業の解説「10枚の協働提案書」

第2回までの宿題として「10枚の協働提案書」を作成するポイントを説明します。

講師：川北秀人（IIHOE代表者）
事例発表者：芝原浩美（IIHOE上級研究員）

第2回 1月31日(火)

互いの力を引き出し、コーディネートの基礎を理解する

個人ワーク「宿題の発表準備」

宿題の「10枚の協働提案書」を共有できるよう、1項目ずつ紙に書き起こします。

全体ワーク「お互いの協働プランに助言・質問する」

壁に貼った他の人のプランに、助言や質問をつけていきます。講師からもコメントします。

解説講義「コーディネーターの役割」

協働のプロセスにおいて、コーディネーターが果たすべき役割とスキルについて解説します。

★次回までの宿題「ワークのブラッシュアップ」

講師：川北秀人（IIHOE代表者）
田村太郎（IIHOE研究主幹）

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

<http://www.iihoe.com/>

NPOや社会起業家の育成のほか、企業の環境・社会コミュニケーションの推進を支援している。自治体職員向けの研修も数多く手がけており、04年度からは、都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査を実施中。

第3回 2月7日(火)

NPOと企業との協働を学ぶ

グループワーク「前回の振り返りと宿題の共有」

他の人の意見を受けてどのように修正したか、グループで共有します。

事例発表「NPOと企業の協働事例」

★ゲスト講師：羽仁カンタ さん・木村真樹 さん (A SEED JAPAN)

国際青年環境NGO A SEED JAPAN (青年による環境と開発と協力と平等のための国際行動)

<http://www.aseed.org/>

野外イベントでの環境対策事業、国際会議での政策提言、地に足つけた国内での啓発活動などにプロジェクト形式で取り組んでいる。

★「ごみゼロナビゲーション」は、94年のスタート以来、大規模な野外音楽イベントから、市民が行う非営利のイベントにまで活動を広げています。ごみの分別ナビゲート、ボランティアコーディネート、リサイクルキャンペーン、ディッシュ・リユース・システムなどの活動に、企業とどのようにパートナーシップを組んできたかについてお話しいただきます。

★「エコ貯金プロジェクト」は、「貯金」という行動を通じて、環境問題・社会問題と向き合おうという活動です。「口座を変えれば世界が変わるキャンペーン～3億円のエコ貯金アクション～」を展開し、青年によるNPOバンク「コミュニティ・ビッグバン・プロジェクト」スタートにいたるまでの、金融機関との関係づくりについてお話しいただきます。

第4回 2月14日(火)

NPOと行政との協働を学ぶ

講義「協働事業を評価・改善するために」

問題と課題を明らかにする自己評価の手法と、評価から判断・行動し、どのように改善へ導いていけばよいかについて解説します。

事例発表「NPOと行政の協働事例」

★ゲスト講師：小島あずさ さん (JEAN)

JEAN/クリーンアップ全国事務局 (JEAN = Japan Environmental Action Network)

<http://www.jean.jp/>

散乱ゴミの調査やクリーンアップを通じて、海や川の環境保全活動を行なっている。

誰もが出すゴミが、川を通じ海へと流出して、地球規模の環境問題になっている現実に対して、調査活動への参加が教育・啓発につながる点が注目されている。また、目に見えてわかりやすい散乱ゴミ問題は、立場の違いを超えて協働しやすい題材でもあるようだ。

★「島ゴミサミット」は、国内の島しょにおける海岸漂着ゴミ問題の解決に向けて、多様な主体による取組み体制の構築などをめざし、03年から毎年開催されています。世界中の海岸で漂着ゴミが問題となっていますが、とくに離島や過疎地の海岸は、回収活動のための人手が少ないうえに、地域内に処分場がないことが多く、処分場までの運搬もふくめて当該自治体の責任において行わねばならないなど、悪条件が重なっています。翻って、日本自体も島国であり、地球も宇宙にうかぶちいさな島のような存在でもあり、厳しい現状を抱える島を舞台に、多様なセクターが集い、改善にむけた意見交換を続けてきました。JEANと開催地の自治体や、地元市民団体、さらには海のゴミ問題に関わる省庁や関連団体との協働の進め方についてお話しいただきます。

講義「環境保全協働コーディネーターに求められるスキルとマインド」

まとめ講義の後、「コーディネーターとして活動するにあたって心がけること」をグループで共有します。

★第3回・第4回も、川北秀人が全体講師を担当します。

事前課題

環境保全に関する協働について、以下質問にお答えください。

*現在、協働で活動(事業)を行なっている方 ⇒ [A] の設問へ

*今後、協働で活動(事業)を行ないたいと考えている方 ⇒ [B] の設問へ

[A] 1. あなたの協働のパートナーは誰ですか？

- NPO/NGO (団体名))
- 自治体 (自治体・部署名))
- 企業 (企業名・部署名))
- その他 ()

2. 協働している環境保全事業の名称と概要をご記入ください。

- ◆事業名：
- ◆その概要(30字程度で)：

3. 協働して、良かった点と改善すべき点は何ですか。

- ◆良かったこと：

- ◆改善が必要だったこと：

4. 新たに協働したい事業があれば、そのパートナーと事業の概要をご記入ください。

- ◆パートナー： NPO/NGO 自治体 企業 その他
- ◆事業の概要(30字程度で)：

[B] 1. あなたが協働したいパートナーは誰ですか？

- NPO/NGO (団体名))
- 自治体 (自治体・部署名))
- 企業 (企業名・部署名))
- その他 ()

2. 協働したい環境保全事業の概要をご記入ください。

- ◆概要(30字程度で)：

3. 協働が実現するとして、良い点と不安な点は何でしょうか。

- ◆良いこと：

- ◆不安なこと：